

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	16-055	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>A cross-sectional study of socioeconomic status and cardiovascular disease risk among participants in the Prospective Urban Rural Epidemiological (PURE) Study. Prospective Urban Rural Epidemiological (PURE) Study における社会的要因と心血管疾患発症との横断的研究</p>		
執筆者		
Egbujie BA, Igumbor EU, Puoane T.		
掲載誌		
S Afr Med J. 2016 Aug 4;106(9):900-6. doi: 10.7196/SAMJ.2016.v106i9.10456.		
キーワード		PMID
社会的要因、心血管疾患、		27601117
要 旨		
背景：		
<p>心血管疾患は世界的に人々や健康システムが対応すべき疾患である。2020 年までに死亡の 1/3 の原因となり、2030 年までには一番死亡を誘因する原因となると予測されている。心血管疾患のリスク要因ごとの社会要因のパターンを調べる研究が進められてきたが、南アフリカからの研究はない。</p>		
目的：		
南アフリカの田舎または都会の集団における社会要因と心血管疾患のリスク要因の関連		
方法：		
PURE study に参加している南アフリカのケープタウンに住む 35-70 歳の男女 1,976 名を対象とした住民ベースのコホート研究のベースライン時における横断研究である。		
結果：		
<p>社会要因と心血管リスク要因に関していくつかの複雑な関連がみられた。結婚に関する要因が最も強くみられた。田舎と都会でパターンは異なる部分があった。都会在住の配偶者と死別した者は、糖尿病と高血圧が多く、独身者は飲酒と喫煙の傾向があった。教育歴は田舎・都会ともに心血管リスク要因との関連がみられなかった。田舎と都会の比較では、すべての社会要因において有意差がみられ、糖尿病・肥満・飲酒は都会に多く、高血圧と喫煙は田舎に多かった。</p>		
結論：		
<p>南アフリカの住民における研究により、社会要因と心血管リスク要因には有意な関連がみられ、田舎と都会でパターンは異なることも示唆された。本研究の結果より、心血管リスクを下げるための介入をする際には、社会要因と田舎・都会などの地域を考慮すべきであるといえる。</p>		